

HOT NEWS!



2年ぶり 待望の開催 JA女性組織みどり会レクリエーション大会



JA 女性組織みどり会は7月6日、宇都宮市西川田の日環アリーナ栃木で2022年度レクリエーション大会を開催しました。同会会員やJA女性組織などの花会、JA役職員ら207人が参加しました。

同大会は会員相互の交流を図り、組織をより活性化させることが目的。毎年開催していましたが、2年間コロナ禍で中止となっていました。今年は新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら開催しました。

講習では、公益財団法人宇都宮市スポーツ振興財団の職員が講師を務め、ウォーキングやリズム体操などを行いました。普段動かさない筋肉を使ったり、頭を動かしたりすることでリフレッシュしながら、会員同士の交流を楽しみました。

同会の所洋子会長は、「2年ぶりに大会を開催でき、うれしく思う。最後まで楽しんで、けがの無いようには参加していただきたい」と話しました。

J Aの横松久夫組合長は、「本日のレクリエーション大会は会員の親睦・交流、健康維持のために開催される。しっかりと運動して、健康にお過ごしいただきたい」とあいさつしました。

HOT NEWS!

JJAうつのみや自己改革実践中 令和3年度の取り組みを一部紹介します。



I. 「営農振興・担い手育成積立金」の活用による生産者支援

農 業者の所得増大」「農業生産の拡大」の実現に向け、積立金を活用した支援事業により、意欲ある農業者や新規・親元就農者などへの直接支援を積極的に進めています。

【支援金額】

総額 約3,000万円

支援対象 77人

【支援効果試算】

下記③⑤合計(39人)

作付面積5.5ha拡大

農家所得8,507万円増加

(一人当たり 平均218万円増加)

①親元独立経営支援事業(652万円)

②簡易パイプハウス支援事業(26万円)

③園芸施設導入支援事業(1,891万円)

④梨生産力向上支援事業(116万円)

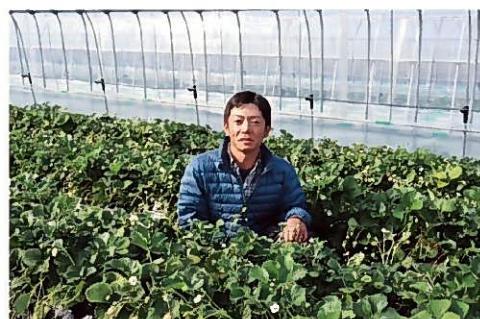
⑤露地野菜生産振興支援事業(181万円)

⑥共同乾燥調製施設導入支援事業(200万円)

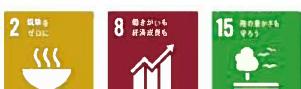
⑦畜産導入支援事業《新規》(10万円)



園芸施設導入支援事業を活用したハウス



導入後も継続的なフォローアップを実施



II. 契約取引・予約相対取引の拡大

契

約取引・予約相対取引を拡大し、取引先・販売先・販売単価の見える販売に取り組みました。

【契約販売実績】

19億3,800万円

【効果試算】

販売単価

市場価格+6円/キロ

販売額

取り組みにより販売額は2,000万円増加



III. ICTを活用した生産技術支援

意

欲ある担い手を対象に、環境制御技術を活用した収量向上栽培講習会を実施しました。
(苺6回、トマト6回、花き1回、他1回)

ド ローンを活用したリモートセンシング技術（生育診断）により、小麦の出穂期前の葉色・ほ場内の生育状況のばらつきを「見える化」し、追肥計画や収穫時期確認への利用を検討しました。
(高タンパク質小麦の栽培に向けた取り組み)



研修を通して意識高揚図る

事業運営委員・農協委員合同研修会を開催

宇都宮市上大曾町で開催した研修会



講演する中村さん



JA は6月25日、宇都宮市上大曾町のホテル東日本宇都宮で事業運営委員・農協委員合同研修会を開きました。同委員、JA役職員ら181人が出席しました。

同研修会はJA運動の実践者であり、組合員の中核でもある事業運営委員と農協委員の意識高揚と、JAとの相互の意思疎通を図るために毎年開催しています。

研修では、JAの役員が両委員の役割やJAの現状、自己改革について説明しました。

また株式会社minitts代表取締役の中村朱美さんが「みんなに必要なあたらしい働き方～仕組みで人を幸せに～」を演題に講演しました。中村さんは経営する飲食店での提供を100食限定にし、フードロス削減や利益の最大化、従業員の働き方改革などにつなげたことを紹介。コロナ禍で経営に大きな打撃を受けた後は新商品の開発にも取り組んでいます。中村さんは「困難を乗り越える裏技や抜け道はないんです。当たり前のことと誰よりも早くたくさんやるだけ」と語りました。

参加者からは「発想と行動力がすごい」「どんな立場でも参考になる」「熱意が伝わり向上心が湧いた」など、多くの感想が寄せられました。

JAでは今後も、より多くの委員に参加してもらい、普段とは異なった視点からの啓発となるような研修会を開催する予定です。

高値維持を目指して 玉葱専門部が目ぞろえ会・中間検討会



目ぞろえを行なう玉葱専門部員ら



JA 玉葱専門部は6月7日、宇都宮市上籠谷町の東部選果場で目ぞろえ会・中間検討会を開催。部員や関係機関の担当者ら37人が参加しました。大島仁志専門部長は「少しでも販売価格を高値で維持できるよう進めていきたい。皆さんよろしくお願いします」とあいさつしました。目ぞろえ会では、担当者から販売経過および今後の販売の見通しや、生育経過について報告がありました。その後、現物を使って出荷規格を確認。出荷に備えました。中間検討会では、2022年産タマネギの販売方針および出荷計画や、中間販売実績の報告、情報交換などが行われました。

市場の関係者は「販売価格は順調で予想以上の単価だと思う。これからも少しでも高く販売できるようにしていきたい」と話しました。

新牛舎を現地視察 和牛改良専門部会現地視察研修会

JA 和牛改良専門部会は6月13日、宇都宮市下栗町のウカジファーム（宇梶博文さん経営）の新牛舎で和牛改良専門部会現地視察研修会を実施。同部会員やJAの担当者ら15人が参加しました。同研修会は、新牛舎の設備や飼養管理などを視察し、部会全体として和牛の品質向上につなげることを目的としています。

同部会の鈴木和弘部会長は「牛舎ができて2年目ということで、飼養管理などについて勉強させていただきたいと思います。皆さんには今回の研修を役立ててほしい」とあいさつしました。

宇梶さんは繁殖雌牛42頭、肥育牛約70頭、子牛30頭を飼養しており、昨年度の8月に肥育牛用の牛舎を新設。参加者は自動給餌器などの設備や飼料、牛の成育状況を確認しました。



熱心に牛舎を見学する参加者

豊作と地区の発展を祈願 日光東照宮神田御田植祭



苗を植える斎藤さん



日光東照宮神田御田植祭が6月14日、宇都宮市篠井地区篠井町で開かれました。日光東照宮関係者、同地区の生産者、JA職員ら12人が参加しました。

篠井地区では毎年1人の奉耕者を選出し、日光東照宮に神田を奉耕しています。22年は斎藤勝広さん（69）が奉耕者となり、10㌃の水田を神田として奉耕しました。斎藤さん宅で祭事が行われ、豊作と同地区の発展を祈願した後、参加者がコシヒカリの苗を神田に植えました。

斎藤さんは「素晴らしい経験をさせていただき、緊張している。しっかりと奉耕者を務めたい」と語りました。

奉耕されたコシヒカリは11月の抜穂祭で日光東照宮に奉納され、3月に行われる献穀講大祭に用いられます。

23年産出荷に向けて栽培方法確認 とちあいか栽培講習会



管理上のポイントについて説明する渡辺技術顧問



JA 莓専門部は6月13日から15日にかけて、上三川・南部・上河内営農経済センターでとちあいか栽培講習会を開催しました。3日間で約120人が参加し、23年産の栽培状況や栽培管理のポイントについて説明しました。14日に宇都宮市砂田町の南部営農経済センターで行われた講習会には、生産者や関係機関の担当者ら約50人が参加。22年産はJA管内57戸がとちあいかを栽培し、生産面積は763ha。10haあたりの平均収量は6.5tでした。JAの渡辺菊男技術顧問は、とちあいかの管理上のポイントについて「芽の数によってその後の着果数が決まるので、早い時期から芽数を確保すること」などを説明し、その他生育障害の発生原因と対策について注意を呼び掛けました。

適正時期の播種呼びかけ

加工用ニンジン栽培講習会



JA は6月15日、「令和4年産加工用ニンジン栽培講習会」を宇都宮市新里町の北部営農経済センターで開催しました。生産者や関係機関の担当者ら約20人が参加しました。JAの担当者が2021年産栽培の販売実績報告をし、課題として播種作業の適正時期・タイミングの見直しや発芽率の向上、発芽後の管理を挙げました。発芽率の向上については、畝間入水による発芽方法に効果が見られたことから、今後も技術を実践していきます。22年産は10ha当たり3t、出荷数量約330tを目標にしています。カゴメの担当者が栽培スケジュールや病害虫雑草防除基準、栽培の留意点を説明。「ニンジンの作柄は発芽で決定する」と強調し、適正時期の播種や十分な灌水と耕起を促しました。



北部営農経済センターで行われた
加工用ニンジン栽培講習会

ハウス栽培「幸水」出荷始まる

JA梨専門部



初出荷される幸水の確認を行うJA職員



JA 梨専門部は6月27日、宇都宮市上籠谷町の東部選果場でハウス梨研究会の鈴木隆弘会長と同会員の山口幸夫さんがハウス栽培による幸水約300kgを出荷しました。23日には同選果場で初出荷を前にナシ（ハウス幸水）出荷目ぞろえ会を開催。生産者やJA職員12人が参加しました。今年は気温が高く雨が少なかったことで出荷はやや遅ましたが、品質は良く食味は良好。今シーズンのナシの出荷量はハウス幸水10t、全品種合計で約3300tを見込んでいます。鈴木会長は「管内では最初の出荷なので、露地栽培のナシにつなげられるようしっかりしたものを出荷していきたい」と語りました。同専門部では21年にナシの販売額が11億7000万円となり、過去最高となりました。今年もナシの品質向上に取り組み、販売につなげていきます。

姿川支部の会員



サツマイモの苗を植える会員

みどり会姿川支部が野菜作り体験(6月10日)

みどり会姿川支部は、同支部会員のほ場でサツマイモ（シリクスイート）の定植作業を行い、会員やJAの担当者ら12人が参加しました。同支部の会員は「支部の皆と一緒に作業できて楽しい」などと話しました。



JA青壮年部が青壮年支部交流会開催(6月24日)

JA青壮年部は、宇都宮市上大曾町のホテル東日本宇都宮で青壮年支部交流会を開き、青壮年部員やJAの担当者ら16人が参加しました。青壮年部国本支部がJA栃木青年部連盟主催で10月に開催される青年大会に参加し、組織活動の実績を発表します。同交流会は、支部間の交流を図りながら、組織全体で発表の準備を行うことを目的に今年初めて開催しました。



徳山理事長(右)に食品を手渡す職員ら



JAがフードバンクうつのみやを支援(6月17日)

JAは宇都宮市塙田2丁目のフードバンクうつのみやにコメや缶詰・レトルト食品などを提供しました。今回、役職員個人でもSDGsへの取り組みを実践・実感してもらうことを目的に、上河内営農経済センターと上河内支所の役職員が家庭にある食品を持ち寄りました。同営農経済センターの高橋正己センター長は「地域社会への貢献が実感できた。今後もしっかりと支援していきたい」と語りました。



大会発表予定の砂川知綏支部長



あいさつする吉田昌史部長



机に並ぶ今回のメニュー 4品



子どもたちの食欲をそそる工夫を(6月27日)

みどり会横川支部は宇都宮市戸祭4丁目の昭和こども食堂で調理ボランティアを行いました。

今回のメニューは、カレー、唐揚げ、野菜サラダ、フルーツポンチの4品。佐藤和子支部長は「食べておいしい、見て楽しいと思ってもらえるように工夫しました。私たちも調理が楽しかったです」と話しました。

組合員の皆さんからの地域の話題や活動報告をお待ちしております。写真を添えてお送りください。
※紙面の都合上、掲載されない場合もありますのでご了承願います。詳しくは総務課組合員広報係まで。

管内インフォメーション

中学生が職業体験 宮っ子チャレンジウィーク

J A の米麦施設を見学する生徒



宇

都宮市立陽北中学校の社会体験学習「宮っ子チャレンジ ウィーク」が東部農経センター管内で実施されました。6月6日から10日の5日間、同校2年生の生徒2人が農家での農業体験やJA施設の見学などを行いました。「宮っ子チャレンジ ウィーク」は中学2年生が学校を離れ、地域の施設や企業などに出向き、さまざまな社会体験をすることを通じ、共に生きる心や感謝の気持ちを育み、主体的に自己の在り方や生き方を見つめることを目的としています。

同校の長谷川知輝さん(14)と水澤侑音さん(14)は8日、宇都宮市平出町の東部地区カントリーエレベーターを見学しました。長谷川さんは「食に関してどんな仕事をしているのか興味があり、JAを選んだ。思っていたより広くいろいろな仕事をしていることが分かった」と話しました。JAでは同校の他、瑞穂野中が東部選果場、田原中が河内農経センターで職業体験を行いました。今後雀宮中、陽東中の生徒も受入れる予定です。



長期投資について分かりやすく解説 資産形成・運用セミナー開催



J A は6月11日、宇都宮市平出工業団地のJAビル教育センターで「資産形成・運用セミナー」を開き、約70人が参加しました。JAは21年度から投資信託の販売を開始。同セミナーは投資の必要性や正しい知識を利用者に周知するため、22年度初めて実施しました。

セミナーでは農林中金バリューアンベストメント株式会社常務取締役兼最高投資責任者の奥野一成さんが「人生を豊かにする長期投資」という題で講演。「投資とは何か」「なぜ投資が必要なのか」など分かりやすく解説しました。奥野さんは、株式投資は単なる株券の売買ではないとした上で「株式投資とはその企業のオーナーになるということであり、オーナーとしての長期投資により社会に価値を創出することだ」と語りました。



講師を担当した奥野さん



普及推進に向けて確認 一日日本農業新聞

申し合わせをする
河内農経センターの松本センター長



J A

は6月20日、「令和4年度一日日本農業新聞」を宇都宮市戸祭元町のJA本所で開催。横松久夫組合長、各農経センター長など20人が参加し、普及目標部数の達成に向けた推進運動を展開することを確認しました。横松組合長は「JAの取り組みや刻々と変わる農政の情報を正確に発信し、共有していくことが大切」とあいさつしました。日本農業新聞東京支所の一杉克彦支所長が情勢報告をし、事務局からは日本農業新聞の普及推進の運動期間や重点普及対象者などを説明しました。最後に河内農経センターの松本一勝センター長が「正確・的確な情報を発信している日本農業新聞を活用して、農家組合員とJA役職員が自己改革や農政に関する正しい情報を共有することが重要だ」と確認しました。同新聞の読者の輪を広げ、「食」「農」「地域」「JA」に対する国民理解を醸成することなど、3項目を申し合わせました。

水稻



品質向上のため

表1 脇割粒・白未熟の発生要因

脇割粒	白未熟(乳白・腹白等)
出穂後10日間の気温が高い	出穂後20日間の気温が高い
最高気温の平均が30°C以上	最高気温の平均が32°C以上
登熟期の葉色が淡い	平均気温の平均が27°C以上
早期落水・刈遅れ	総耕数が多い
浅い作土	早期落水やフェーン現象など
高水分粒の高温乾燥	日照不足・窒素不足

今月は、米の品質と収量に影響する大切な時期になります。気象庁の予報では、8月の平均気温は平年並みから高くなる見込みとなっています。白未熟粒や脇割粒の発生は、この時期の気温に関係することから注意が必要です。被害粒の発生を抑え、充実した米を得るために管理を心掛け、おいしい「米づくりを目指しましょう。

大豆

○穂いもちを水和剤や乳剤などで防除する時は、葉いもちの発生がないほ場は穂揃い期に予防効果の高い薬剤を、葉いもちの発生が多いほ場は、出穂始めと穂揃い期に予防効果と治療効果の高い薬剤を散布します。粒剤で防除する時は薬剤に適した時期に使用します。

○紋枯病は、7月末から8月初旬に100株中20株の発病がある時は出穂こまめに灌水する。また、フェーン現象が予想される時はやや深水とする。
②早期落水は避け、落水時期は出穂後30日以降とする。

紫斑病・べと病と害虫の防除



○穂いもちを水和剤や乳剤などで防除する時は、葉いもちの発生がないほ場は穂揃い期に予防効果と治療効果の高い薬剤を散布します。粒剤で防除する時は薬剤に適した時期に使用します。

○紋枯病は、7月末から8月初旬に100株中20株の発病がある時は出穂こまめに灌水する。また、フェーン現象が予想される時はやや深水とする。
②早期落水は避け、落水時期は出穂後30日以降とする。

紫斑病・べと病と害虫の防除



表2 水稻の主な防除薬剤

対象病害虫	薬剤名	希釈倍率・散布量	使用時期/使用回数
カメムシ類	スミチオン乳剤	1000倍・60-150L	収穫21日前まで/2回以内
	トレボンEW	1000倍・60-150L	収穫14日前まで/3回以内
	スタークル液剤10	1000倍・60-150L	収穫7日前まで/3回以内
	スタークル粒剤	3Kg	収穫7日前まで/3回以内
いもち病	プラシンフロアブル	1000倍・60-150L	収穫7日前まで/2回以内
紋枯病	モンカットフロアブル バリダシン液剤5	1000~1500倍/散布 1000倍・60-150L	収穫14日前まで/3回以内 収穫14日前まで/5回以内

表3 大豆の主な防除薬剤

対象病害虫	薬剤名	希釈倍率・散布量	使用時期/使用回数
紫斑病	ベルクートフロアブル	1000倍・100-300L	収穫7日前まで/4回以内
	サンリット水和剤	1000-2000倍・100-300L	収穫14日前まで/2回以内
	ゲッター水和剤	1000倍・100-300L	収穫14日前まで/3回以内
	Zボルドー	500倍・100-300L	
べと病	ランマンフロアブル フェスティバルC水和剤	1000~2000倍・100-300L 600倍・100-300L	収穫7日前まで/3回以内 収穫7日前まで/3回以内
マメシンクイガ 及び カメムシ類	スミチオン乳剤	1000倍・100-300L	収穫21日前まで/4回以内
	トレボンEW	1000倍・100-300L	収穫14日前まで/2回以内
	ダントツ水溶剤	2000倍・100-300L	収穫7日前まで/3回以内
ハスモントウ	フレバソンフロアブル5	4000倍・100-300L	収穫7日前まで/2回以内



雀宮支部の会員たち



手指を使った脳トレ体操をする会員たち



小物入れを製作する会員たち



輪投げをする会員たち



上河内支部の会員たち



輪投げ大会で優勝した会員

みどり会雀宮支部活動について

みどり会雀宮支部は、6月15日に健康体操・牛乳パック小物入れづくり講習会を開催しました。久しぶりの全体活動となりましたが会員ら20人が参加し、ゲーム感覚でできる手指を使った脳トレ体操を生活福祉課職員から教えていただき、楽しいひとときを過ごすことができました。小物入れづくりにつきましても、皆生き生きとした表情で取り組んでいました。みどり会入会希望者も招き、加入促進も兼ねての取り組みとなりました。



小物入れ完成品

みどり会上河内支部は、新型コロナウイルスの影響で、活動を控えてまいりました。感染者数も下降気味になり、屋外での活動なら可能ではないかと判断し、感染対策を十分に行いながら6月23日に輪投げ大会を開催いたしました。当日はあいにくの小雨でしたが、23人の会員の方々が参加してくださいました。久しぶりに対面で活動し、皆さまの生き生きとした輝く笑顔が見られ、楽しいひとときを過ごすことができました。



ワンプレートレシピ One plate recipe

新ナスの酢の物



材料(4人分)

ナス	8本
ゴーヤー	1/2本
ミニトマト	8個
おろしショウガ	大さじ1
三杯酢	適宜
(酢3:薄口しょうゆ1:砂糖1:だし汁2)	
だし汁	適宜
菜種油	適宜
塩	適宜

作り方

- ① ゴーヤーは薄切りにし、塩で軽くもみサッとゆがいておく。ミニトマトは湯むきしておく。
- ② ナスは上下を切り落とし縦に包丁で5、6本切込みを入れ、180度に熱した菜種油でクルクル回しながら揚げ、冷水に落とし手早く皮をむく(翡翠くひすい)なにする。
- ③ ②のナスを、だし汁に浸し一晩置く。三杯酢は鍋で一煮立ちさせ冷ましておく。
- ④ ③のナスを器に盛り付け、ゴーヤー、ミニトマト、おろしショウガをあしらい、三杯酢をかけ出来上がり。

茨城県笠間市にある
天晴(旧キッチン晴人)
オーナーシェフ
ながいともかず
永井智一



今月の直売所情報

お盆の切り花はJA直売所で!
日持ちが良いと評判です。

※売り切れの際はご容赦ください。



えきの市場JA青果売場でぶどう専門部による消費宣伝実施!!

8月26日(金)毎年恒例の、ぶどう専門部による消費宣伝が実施されます。JAうつのみや産のおいしいブドウをぜひ、この機会にお求めください。無くなり次第終了となりますので、お早めにご来店ください。



お米の特売日

JAうつのみやお薦めのみやおとめ(コシヒカリ)をお買い得価格にて販売します!!

●JAグリーンインターパーク直売所

毎月第3日曜日(8/21)

●JAグリーンかみかわち直売所

毎月8の付く日(8/8, 18, 28)

直売店舗8月の営業日程

店舗	開店時間	閉店時間	隔日休業
JAグリーンインターパーク直売所	通常営業(変更無し)	8/30(火) 31(水)	
JAグリーンかみかわち直売所	通常営業(変更無し)	8/31(水) (臨時休業)	
南河内グリーンセンター	8月から第3水に定休日 が変わります。	8/31(木) (臨時休業)	
上三川いきいきプラザ直売所・えきの市場	変更無し		

特売 南河内グリーンセンター

第3金土日曜は特売デー

今年はお盆休みを取らず営業します!!

南河内グリーンセンター生産者さん募集!!

詳しくは南河内農業経済センター
TEL: 0285-48-2215 営農課 森田・上野まで

南河内支所

だより

各支所の活動や地域の情報を届けします!



お客様のリスクへの備えと資産形成・運用をサポート

南河内支所には18人の職員が所属し、地域に根ざし、安心してご利用いただける店舗を目指して日々の業務に取り組んでいます。

当支所の外回り担当職員にはライフアドバイザー(LA)4人、金融総合専門2人が在籍し、お客様のひと・いえ・くるまに対するあらゆるリスクに対する各種提案や貯金・年金・投資信託・融資・相続などに対するご相談に応じています。



ライフアドバイザー(LA)



金融総合専門担当者

道の駅しまつけ

さまざまな世代の来場者が
利用しています



当支所管内のおススメスポットの一つに「道の駅しまつけ」があります。施設内には地元で採れた新鮮な農畜産物や加工品が並ぶ直売コーナーをはじめ、ボリューム満点の食事やジェラートを楽しめるさまざまな飲食店、ご家族連れで楽しめる遊具コーナーなどもあり、連日、多くの来場者でにぎわっています。

ご来店の際には、こちらにも足を運ばれてみてはいかがでしょうか。



支所・センター電話番号

中央支所	028-633-3467	南河内支所	0285-48-2211
宝木出張所	028-622-6111	上三川支所	0285-55-1510
平石支所	028-661-4311	宇都宮北部営農経済センター	028-665-0550
南部支所	028-656-1020	宇都宮西部営農経済センター	028-658-6565
城山支所	028-652-0711	宇都宮南部営農経済センター	028-656-8484
北部支所	028-665-0003	宇都宮東部営農経済センター	028-660-3535
豊郷支所	028-624-8011	上河内営農経済センター	028-674-2164
清原支所	028-667-0151	河内営農経済センター	028-673-6911
姿川支所	028-658-6881	南河内営農経済センター	0285-48-2215
上河内支所	028-674-3333	上三川営農経済センター	0285-55-1511
河内支所	028-673-3135	住宅ローンセンター	028-622-7100

各種お問い合わせはこちらへ

■ キャッシュカードの紛失・盗難
フリーダイヤル0120-082065

■ 夜間・土・日・祝祭日の自動車事故(24時間受付)
事故受付センター フリーダイヤル0120-258931

■ JA葬祭(24時間受付)
アトラス宇都宮ホール 028-660-5555
アトラスアミラーホール鶴田 028-633-9200
アトラス上三川ホール 0285-55-1555

■ LPガス関係 灯油・軽油・A重油の配達
フリーコール 0800-700-0085(通話無料)
※緊急連絡先028-633-0085